

令和4年6月3日

各中学校長 様
各中学校英語科担当者 様

熊本県中学校英語教育研究会
会 長 田口 恵子
(熊本市立桜山中学校長)

第74回熊本県中学校英語弁論大会開催について

拝啓 貴校益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、標記大会を下記のとおり実施いたしますので、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

- 1 主催 熊本県中学校英語教育研究会
後援 熊本県教育委員会・読売新聞社
- 2 目的 本大会は、県内中学生の英語による表現力の向上と、豊かな国際性の育成を目的とする。
なお、本大会は高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会の熊本県予選を兼ねる。
(昨年度から、ショートスピーチ大会は実施しない)
- 3 期 日 ビデオ審査 令和4年9月16日(金)～23日(金)
結果発表 令和4年9月30日(金) ホームページ上にて(学校名のみ)
- 4 参加資格
 - (1) 熊本県内の中学校に在籍する生徒。
 - (2) 参加人数は、**同一校から1名**とする。
 - (3) 弁論大会には、どの学年の生徒も参加できる。なお、例年実施しているショートスピーチ大会は、今年度実施をしない。
 - (4) ただし、次の項目に該当する場合には、参加は認められない。

- (a) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏(※)に居住した者。
 - (b) 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6ヶ月以上在籍したことがある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。
 - (c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(※)出身の者がいる場合。
 - (d) 過去に本大会の中央大会にて1位～3位に入賞した者。

(※)「英語圏」とは(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は高円宮杯ホームページ(<http://www.jnsafund.org>)を参照のこと。

* その他、個別のケースについては、事前に高円宮杯事務局にお問い合わせください。
Tel 03-3217-8393(平日13:00 - 18:00) Fax 03-3217-8358 E-mail takamado_general@jnsafund.org
- 5 担当責任者 熊本市立武蔵中学校 奥村 りか
(問い合わせ先) 〒861-8001 熊本市北区武蔵ヶ丘4丁目19番1号
Tel 096-338-5430 Fax 096-338-5468
- 6 審査員 原則として、外国人2名、日本人2名
- 7 審査方法 三部門(内容、英語力、表現)を百点満点とし、各審査員の採点合計をもとに各審査員が評価点のボート・ポイントを与え、順位を決定します。

9 申込先

熊本大学教育学部附属中学校 甲斐 旭
〒860-0081
Tel (096) 355-0375 Fax (096) 355-0379
E-mail kai@educ.kumamoto-u.ac.jp

- 10 申込締切 令和4年9月7日(水) 17時必着とする。
※締切後の申込みは、一切受け付けません。

11 提出物

	提出物	媒体	形式	数	提出先
①	参加申込書	メール	職印なし	1通	熊大附属中 甲斐 旭
②	参加申込書	紙	職印入り	1部	熊大附属中 甲斐 旭
③	原稿	メール	PDF A4サイズ 1枚 縦置き	1部	熊大附属中 甲斐 旭
④	ビデオ動画	動画		1	Google classroom 「英語弁論大会」

※①～④を、期日までに提出のこと。④の提出方法詳細は、別紙資料参照。熊本県中学校英語教育研究会のウェブサイト<http://ws.higo.ed.jp/jhs-english/>からもダウンロードできる。

12 応募形式

- 別紙の参加申込書に記入し、**電子メールで上記宛に送信する。**ファイル名は「弁論(〇〇中)」とする。**申し込み後も、担当者から申込者へ電子メールで送信される、大会についての連絡事項を各自で確認する。確認後、上記宛に確認済みのメールを返信する。**
- 各学校で、参加生徒が上記6に示している参加資格に該当することを確認し、**学校長の職印を押印の上、参加申込書**を上記の申込先に提出する。
※原稿は、必ずネイティブスピーカーにチェックを受ける。
※参加申込書と原稿のフォーマットは、熊本県中学校英語教育研究会のウェブサイト(<http://ws.higo.ed.jp/jhs-english/>)からダウンロードする。
- 原稿の書式は、「**A4用紙の縦置き1枚**」とする。入力は半角で行い、論題、学校名、学年、生徒氏名を記入し、PDFで提出する。**なお、学校名、学年、生徒氏名については、英語表記とする。**
- 論題は自由である。弁論内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現により明示する。
- 制限時間については、5分以内とし、マイクなど音声機器は使用しない。視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。

- 13 表彰 上位5位までとする。

14 その他

- 原稿も動画も事前に審査員に送付する。よって、**メ切り後の原稿・動画の差し替えは認められない。**
 - 発表の際は、マイクは使用しない。時間オーバーはボート・ポイントから減点となるので、ゆっくり話しても大丈夫な原稿の長さに調整をする。
 - 暗唱を原則とし、原稿を持つことはできない。
 - 発表者はタイトル名や最後の「Thank you (for listening)」を言わない。
 - ビデオの編集はしないで提出する。
 - この県大会で選ばれた代表が東京での中央大会に臨み、高円宮杯を目指す。
- ※ビデオ審査動画についての「よくある質問と回答」は、次頁に掲載。

【担当理事】	奥村 りか (熊本市立武蔵中学校)	甲斐 旭(熊本大学教育学部附属中学校)
	速水 幸紀(熊本市立飽田中学校)	西 亜希子(玉名市立玉名中学校)
	富田 晃弘(熊本市立白川中学校)	古谷 綾香(熊本市立桜木中学校)
	梅北 かつら (大津町立大津中学校)	今村 啓浩 (和水町立三加和中学校)
	作本 亜子 (熊本市立錦ヶ丘中学校)	池田 貴文 (熊本市立植木北中学校)

[ビデオ審査についてのよくある質問と回答]

○ビデオはどこで撮影すればいいか？

→静かな屋内での撮影をおすすめします。提出前に画質・音質等をご確認ください。詳しくはサンプル動画(<http://www.youtube.com/watch?v=vStV-N4IhY4&t=85s>)を参照ください。

○スピーチは何分に収めればいいか？

→要項通り5分以内をお願いします。動画中の最初の発声から5分です。超過した場合は、要項記載通り減点の対象となります。

○どの角度から撮影すればいいか？

→カメラは正面で固定したまま撮影してください。腰から上の上半身が映ることが望ましいです。

○スピーチ中は自由に動いていいか？

→スピーチ中は立ち位置を変えないでください。また、①音声機器を使用しない ②道具の使用や演技等は禁止も守ってください。

○目線はどこに合わせればいいか？

→カメラ目線をお願いします。

○カンニングペーパーやプロンプターなどの使用はOKか？

→使用は禁止です。

○司会者がスピーカー名とタイトルを言う必要はあるか？

→ありません。スピーチのみ収録してください。

○スピーカーから見えるところに時計を置いたりタイムキーパーを座らせたりしてもかまわないか？また、制限時間が少なくなったり尽きたりしていることを知らせるベルをタイムキーパーが鳴らしてもかまわないか？

→かまいません。

○ビデオの編集はしてもよいか？

→撮影後の編集は禁止です。画質・音質等に問題がある場合は、スピーチ全体を撮影し直してください。雑音が入った場合、スピーチが聞こえるのであれば、多少の雑音は構いません。音質を確認してから提出してください。ビデオ提出後の変更・修正等は認められません。

○ビデオ提出後の差し替えはできるか？

→できません。最終確認をした上で提出してください。

○他の参加者動画も視聴することはできるか？

→プライバシーの関係上、見ることはできません。

○県大会で1位を取り、中央大会に出場となった場合、県大会用に提出した動画と中央大会用に提出する動画は違っていいのか？

→スピーチの内容が同じであれば、県大会用の動画と中央大会に提出する動画は違って大丈夫です。

